

事務連絡  
令和2年4月6日

大阪・豊田・東京・北海道事業対象地域  
各都道府県・政令市産業廃棄物行政主管部（局）長 殿

環境省環境再生・資源循環局  
ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室長

高濃度ポリ塩化ビフェニルを含むコンデンサー等が使用された機器の  
所有の有無の確認及び早期処理について（情報提供）

平素より、ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正かつ確実な処分に関して御尽力いただき、感謝申し上げます。

高濃度 PCB 廃棄物については、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）を活用し、地元の理解と協力の下、全国 5 か所の処理施設を活用して処理が行われているところです。ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（平成 13 年法律第 65 号。以下「PCB 特別措置法」という。）においては、JESCO の処理施設ごとに定める計画的処理完了期限の 1 年前を処分期間の末日として規定していますが、既に、北九州事業地域の変圧器、コンデンサー等については、平成 30 年 3 月 31 日に処分期間が終了し、計画的処理完了期限である平成 31 年 3 月末日までに処理が完了したところであり、他の事業地域においても順次処分期間が到来することとなり、残された時間は限られています。

特に、電気事業法（昭和 39 年法律第 170 号）の電気工作物ではない X 線発生装置や溶接機等の非自家用電気工作物の中に組み込まれているコンデンサーについては、北九州事業地域の変圧器、コンデンサー等の処分期間後にも多く発覚したほか、PCB 含有絶縁油が使用されたものの存在も明らかになっており、これらについても、所有事業者及び保管事業者は、PCB 特別措置法により処分期間内に廃棄した上で自ら処理又は JESCO に処分委託することが義務付けられています。

こうした非自家用電気工作物である X 線発生装置、溶接機及び昇降機（エレベーター、エスカレーター）制御盤における高濃度 PCB を含むコンデンサー及び絶縁油（以下「高濃度 PCB 含有コンデンサー等」という。）の使用有無については、各機器のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期から判別可能です。

つきましては、高濃度 PCB 含有コンデンサー等が使用された X 線発生装置、溶接機及び

昇降機（エレベーター、エスカレーター）制御盤の有無の確認方法について、下記のとおり情報提供しますので、各都道府県・政令市が実施する掘り起こし調査に御活用いただくとともに、自ら管理する施設の確認のため庁内各部局へも適宜周知いただくようお願いします。

なお、弊省より国の各省庁に対しては、各省庁が自ら管理する施設の確認を行うこと、各省庁が所管する独立行政法人又は特殊法人等への要請及び関係業界団体への周知を行うことについて依頼しております。また、各省庁からの要請・周知先については弊省にて別途取りまとめ、各都道府県・政令市の産業廃棄物行政主管部局へ情報提供させていただく予定です。

## 記

①～③の要領により、高濃度 PCB 含有コンデンサー等が使用された X 線発生装置、溶接機及び昇降機（エレベーター、エスカレーター）制御盤の有無の確認等をお願いします。

### <確認要領>

#### ① 製造時期の確認

国内の PCB の生産は昭和 47 年（1972 年）に中止され、高濃度 PCB を含むコンデンサー等の電気機器の製造も中止されましたが、それ以前に出荷された高濃度 PCB を含むコンデンサー等を高電圧発生装置として組み込んだものが昭和 50 年代前半頃まで製造・販売されていたことが確認されています。

そのため、まず、使用中又は保管中の X 線発生装置、溶接機及び昇降機（エレベーター、エスカレーター）制御盤が昭和 55 年（1980 年）までに製造・販売されたものであるかを確認してください。なお、昭和 55 年以降に機器のメンテナンス等により高電圧発生装置の交換を行っている場合、高濃度 PCB は含まれておりません。ただし、交換を行った際、コンデンサー等を含む高電圧発生装置部分を切り離して保管されている場合もあるため、そのようなものの有無についても確実に確認するようにしてください。

#### ② 機器の判別方法

①で該当する機器を使用・保管している場合、当該機器における高濃度 PCB 含有コンデンサー等の使用有無について、機器の種類ごとに以下の要領で確認してください。

##### • 医療用 X 線発生装置：

高濃度 PCB 含有コンデンサーの使用有無について、一般社団法人日本画像医療システム工業会のホームページ (<http://www.jira-net.or.jp/info/pcb.html>) に掲載された各社（5 社）問い合わせ先に連絡して確認してください。5 社以外のメーカーの機器を保有している場合は、直接メーカーにお問い合わせください。

##### • 工業用 X 線検査装置：

一般社団法人日本検査機器工業会に加盟する4社により製造された機器のうち、高電圧トランスに PCB 含有絶縁油が使用された可能性のあるものの機器名、型式名及び製造時期は別添1のとおりであり、これらに該当するものを使用・保管しているかを確認してください。4社以外のメーカーの機器を保有している場合は、直接メーカーにお問い合わせください。

- 溶接機：

一般社団法人日本溶接協会に加盟する5社により製造された機器のうち高濃度 PCB 含有コンデンサー等を使用したものの機器名、型式名及び製造時期は別添2のとおりであり、これらに該当するものを使用・保管しているかを確認してください。また、別添2に記載の8社については、高濃度 PCB 含有コンデンサー等を使用した機器はありません。なお、これら13社以外のメーカーの機器を保有している場合は、直接メーカーにお問い合わせください。

- 昇降機（エレベーター、エスカレーター）制御盤：

昇降機（エレベーター、エスカレーター）の制御盤に高濃度 PCB 含有コンデンサーが使用されているかは、建物の昇降機保守会社にお問い合わせください。

③ 高濃度 PCB コンデンサー等を使用した機器を所有している場合は、処分期間内に使用を中止し、PCB 特別措置法に基づく届出をして、早期に JESCO へ処分委託を行ってください。

#### <参考：微量 PCB に汚染されたコンデンサーが使用された機器の確認>

○ 平成3年（1991年）以前に製造された上記の機器には、微量の PCB を含むコンデンサーが使用されている可能性があります。特に、分析用 X 線検査装置について、一般社団法人日本分析機器工業会のホームページに掲載された各社（2社）の製品については同ホームページ（<https://www.jaima.or.jp/jp/about/activities/pcb/>）に掲載された問合せ先に連絡して確認してください。2社以外のメーカーの機器を保有している場合は、直接メーカーにお問い合わせください。また、溶接機についても、別添2のとおり、微量 PCB が含まれるコンデンサーが使用された可能性のある時期が把握されていますので参照の上、確認をお願いします。その上で、該当する機器の廃棄時には、コンデンサーに封入された絶縁油を採取して PCB 濃度の測定を行うようにしてください。

○ 微量 PCB 含有コンデンサーは低濃度 PCB 廃棄物として、PCB 特別措置法により処分期間が令和8年度末までと定められており、処分期間内に確実に自ら処分し、又は処分委託を行う必要があります。低濃度 PCB 廃棄物の処理は JESCO ではなく、環境大臣の認定を受けた無害化処理認定事業者と都道府県市の許可を受けた特別管理産業廃棄物処分業者により行われていますので、これらの事業者へ処分委託を行ってください。なお、事業者選定に際しては、下記参照先の「廃棄物処理法に基づく無害化処理認定施設一覧」を御確認ください。

<添付資料>

別添1：高濃度 PCB 含有絶縁油を使用した可能性のある工業用 X 線検査装置のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

別添2：高濃度 PCB 含有コンデンサーを使用した溶接機のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

<参照先>

- ポリ塩化ビフェニル (PCB) 使用製品及び PCB 廃棄物の期限内処理に向けて (パンフレット)

<http://pcb-soukishori.env.go.jp/download/pdf/full9.pdf>

- ポリ塩化ビフェニル (PCB) 早期処理情報サイト (環境省ホームページ)

<http://pcb-soukishori.env.go.jp/>

- 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) ホームページ

<http://www.jesconet.co.jp/>

- 廃棄物処理法に基づく無害化処理認定施設一覧

<https://www.env.go.jp/recycle/poly/facilities.html>

<問い合わせ先>

- PCB 特別措置法又は電気事業法に基づく手続き等に関する問い合わせ先  
参照先のパンフレット 12 ページに記載

- JESCO への PCB 廃棄物の登録、委託契約等に関する問い合わせ先

JESCO 登録担当 Tel : 03-5765-1935

- 各機器に関する問い合わせ先

- ・ 一般社団法人日本画像医療システム工業会 (JIRA)

<http://www.jira-net.or.jp/info/pcb.html>

TEL : 03-3816-3450

- ・ 一般社団法人日本検査機器工業会 (JIMA)

<https://jima.jp/>

TEL : 03-3288-5080

- ・ 一般社団法人日本分析機器工業会 (JAIMA)

<https://www.jaima.or.jp/>

TEL : 03-3292-0642

- ・ 一般社団法人日本溶接協会 (JWES)

<http://www.jwes.or.jp/>

TEL : 03-5823-6324

以上

# 別添1

高濃度PCB含有絶縁油を使用した可能性のある工業用X線検査装置のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

一般社団法人 日本検査機器工業会

2020年3月27日

	当時の製造メーカー	製造年月	形式	備考
1	(株) 島津製作所	1980年以前(S55年)	WELTESシリーズ	高電圧トランスが油絶縁式
2	東京芝浦電気 (株)	1970年以前(S45年)	EX-200	高電圧トランスが油絶縁式
3	東京芝浦電気 (株)	1970年以前(S45年)	EXS-2型	高電圧トランスが油絶縁式
4	理学電機 (株)	1970年以前(S45年)	RFシリーズ	高電圧トランスが油絶縁式

PCB含有コンデンサー（微量混入が懸念されるものを含む）を使用した溶接機のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

回答企業	設備型式・機種	メーカー	PCB含有コンデンサの使用時期	微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期
(株) オリジン	「OFP-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1955年4月～1992年12月
	「4FR-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1955年4月～1988年10月
	「5FR-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1955年4月～1993年3月
	「C1FP-」または「C-1FP」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1955年4月～1972年4月
	「C4M-」または「C-4M-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1955年4月～1972年4月
	「OA-」で始まる機種 ※○は1桁または2桁の数字	オリジン電気株式会社		1959年4月～1993年3月
	「OAS-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1959年7月～1993年3月
	「P-O」で始まる機種 ※○は1桁または2桁の数字	オリジン電気株式会社		1960年2月～1993年3月
	「OD-」で始まる機種 ※電源部 ○は数字	オリジン電気株式会社		1960年5月～1993年5月
	「C-1AS」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1960年7月～1972年4月
	「V-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1960年9月～1993年3月
	「I-HP」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1961年1月～1972年4月
	「J-1～9-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1969年8月～1993年3月
	「H-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1969年10月～1989年9月
	「KFP-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1969年10月～1971年6月
	「4PO-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1970年3月～1985年6月
	「Z-OA-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1970年5月～1990年3月
	「SA-○○」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1970年10月～1993年3月
	「SP-○○」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1970年2月～1987年11月
	「JV-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1975年7月～1993年3月
	「JP-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1970年3月～1993年3月
	「JPF-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1986年5月～1993年3月
	「JZ-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1971年1月～1991年3月
	「K-」で始まる機種 ※機構部のみ	オリジン電気株式会社		1970年10月～1993年3月
	「D-」で始まる機種 ※電源部のみ	オリジン電気株式会社		1970年6月～1993年5月
	「OAP-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気株式会社		1971年1月～1982年2月
	「KAP-」または「K-AP-」で始まる機種	オリジン電気株式会社		1970年6月～1971年6月
	「OP-15」※ブラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		1971年3月～1977年7月
	「OP-40」※ブラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		1971年8月～1978年10月
	「OPW-100」※ブラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		1972年12月～1977年1月
	「OPW-200」※ブラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		～1984年2月
	「OPW-300」※ブラズマ溶接機	オリジン電気株式会社		～1978年3月
	「PCD-100-405」※ブラズマ切断機	オリジン電気株式会社		1977年3月～1982年2月
	「PCD-100-406」※ブラズマ切断機	オリジン電気株式会社		1981年10月～1985年3月
「PCD-150-380」※ブラズマ切断機	オリジン電気株式会社		1975年12月～1980年3月	
「PCD-150-416」※ブラズマ切断機	オリジン電気株式会社		1985年8月～1991年8月	

回答企業	設備型式・機種	メーカー	PCB含有コンデンサの使用時期	微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期
(株) オリジン	<p>【使用コンデンサについて】</p> <p>1) 使用コンデンサメーカー：日ケミ、マルコン（現：日ケミ山形）</p> <p>2) 期間内の製造でオイルコンデンサ（型式：OP～）・MPコンデンサ（型式：MP～、～MWK～）・ペーパーコンデンサ（型式：～DU～）の搭載されている装置が対象です。 取扱説明書に記載のある回路素子表よりご判断ください。ご判断ができない場合は、装置に具備された装置銘板より製造番号をご連絡頂ければ対象装置か回答可能です。 対象装置に関しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をお願い致します。</p>			
(株) ダイヘン	HP掲載の通り ( <a href="https://www.daihen.co.jp/csr/pcb/index08.html">https://www.daihen.co.jp/csr/pcb/index08.html</a> )			
電元社トーア (株)	定置式スポット溶接機 SLPシリーズ	東亜精機 (株) (～1988年) ナストーア (株) (1988年～2011年)	1970年7月～1973年3月	1973年4月～1990年3月
	定置式プロジェクション溶接機 POシリーズ			
	定置式シーム溶接機 RCK・RCG・RUGシリーズ			
	タイマーコンタクター TCシリーズ			
	屋根シーム溶接機 S5-TH-Yシリーズ			
	定置スポット溶接機 NDシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	プロジェクション溶接機 NP・NPNシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	シーム溶接機 UC・UL・UU・UCTシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	三相整流式溶接機 NRP・NRMシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	三相低周波式溶接機 NFM・UFMシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です
フラッシュ溶接機 FA・FO・FMシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です	
コンタクタ SNシリーズ	(株) 電元社製作所	使用していません	1989年までの製造品が対象です	
(株) ナ・デックス	IC タイマ：SC4 型	(株) 名古屋電元社	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	CMOSタイマ：TCC4-17*	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	マイコンエース：M******	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅠ：TMCO-*** / CSM-***	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅡ：TCUO-**** / CSU-***	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅢ：U30-****	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅣ：U40-****	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	RWC：U32-****	(株) 名古屋電元社	使用していません	
	AWC：AWC-**	(株) 名古屋電元社	使用していません	
PHASE 1：PH1-****	(株) 名古屋電元社	使用していません		
(株) 神戸製鋼所	SP500-****	(株) 神戸製鋼所	該当無し	1985年～1988年 ※1
	SP350-****	(株) 神戸製鋼所	該当無し	1987年～1988年 ※1
	PC350-***1, PC350-***2	(株) 神戸製鋼所	該当無し	1988年～1998年 ※2
	AL350-***1	(株) 神戸製鋼所	該当無し	1991年～1996年 ※2
	<p>【微量PCB混入が懸念されるコンデンサについて】</p> <p>※1) ペーパーコンデンサDUシリーズ（マルコン電子）</p> <p>※2) ペーパーコンデンサ100DU223M（マルコン電子）。但し、製造年が1990年～1998年の溶接機PC350, AL350のうち、使用した当該コンデンサの製造年が1990年以降の場合（コンデンサの製造ロット番号、0A, 0B---0L, 0M(1990年)～8A, 8B---8L, 8M(1998年)）は、微量PCB混入の懸念は無いため対象外。</p>			
パナソニック (株)	別紙1の通り			
育良精機 (株)	該当なし			
OBARA (株)	該当なし			
(株) 向洋技研	該当なし			
(株) 中央製作所	該当なし			
デンヨー (株)	該当なし			
(株) 電溶工業	該当なし			
古河電工パワーシステムズ (株)	該当なし			

## 高濃度PCB含有コンデンサを使用した溶接機のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

回答企業	設備型式・機種	メーカー	PCB含有コンデンサの使用時期	微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期
パナソニックスマートファクトリーソリューションズ(株)	下記の通り			

## 記

## PCB使用溶接機／微量PCB混入溶接機について

## ① 1972年以前に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1972年以前に製造された溶接機には、PCBを使用しているものがあります。  
溶接機の主銘板の写真と、主銘板に記載された情報(型式名、品番、製造年他)をご連絡ください。  
主銘板が判別できない場合、溶接機本体の写真の送付をお願いします。  
対象機種に対しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をおねがいたします

## 【PCB使用溶接機品番と製造期間】(\*には数字/英文字が入ります)

## ○製造期間:1957年(昭和32年)～1972年(昭和47年)

LAW-136(5)*	YK-136(5)E*	YK-136(5)F*
LAW-256(5)*	YK-206(5)E*	YK-186(5)F*
LAW-306(5)*	YK-256(5)E*	YK-206(5)F*
LAW-406(5)*	YK-306(5)E*	YK-256(5)F*
LAW-506(5)*	YK-406(5)E*	YK-306(5)F*
	YK-506(5)E*	YK-406(5)F*
		YK-506(5)F*

## ○製造期間:1957年(昭和32年)～1959年(昭和34年)

SAW-066(5)

## ○製造期間:1957年(昭和32年)～1963年(昭和38年)

SAW-306(5)

SAW-506(5)



別紙1 続き

○上記以外は個別にお問い合わせください

② 1990年以前に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1990年以前に製造された溶接機には、製造時における微量PCB混入の可能性を完全に否定することができないものがあります。

溶接機の主銘板の写真と、主銘板に記載された情報(型式名、品番、製造年他)をご連絡ください。

主銘板が判別できない場合、溶接機本体の写真の送付をお願いします。

対象機種に対しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をおねがいたします。

③ 1991年以降に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1991年以降に製造された溶接機は、製造時におけるPCBの混入の可能性ある対象機種に該当いたしません。